

1 当院における不妊・体外受精コーディネ
2 ーターの役割について
3

4 ○松野恵子（臨床検査科） 扇りか（臨床検査科） 橋
5 本和美（臨床検査科） 大沢真知子（臨床検査科）
6 山縣麻衣（産婦人科） 尾崎江都子（産婦人科） 田
7 卷勇次（産婦人科） 伊澤美彦（産婦人科）
8

9 **【目的】**体外受精療法は、卵子の成熟（注射での卵
10 巣刺激）採卵、移植、妊娠判定まで約一ヶ月かけて
11 実施される。精神的・肉体的・経済的負担の大きい
12 治療である。そのため十分なインフォームドコンセ
13 ントが必要である。当院では、検査技師が胚培養士
14 の他に不妊外来のカウンセリングや体外受精コーデ
15 ィネーターを兼ねて不妊治療全般に渡って参加して
16 いる。今回、外来、病棟及び手術室での役割を報告
17 する。**【対象及び方法】**不妊・体外受精コーディネ
18 ーターは、不妊外来を受診した患者様を対象に一般不
19 妊治療（不妊オリエンテーション）と高度生殖補助
20 医療（体外受精オリエンテーション）の説明及び精
21 神的サポートなどを担当している。一般不妊検査に
22 は、卵管造影、精液検査、ホルモン検査などがある。
23 それぞれの説明に加えて患者様の現在抱えている問
24 題などもサポートする。高度生殖補助医療は、体外
25 受精の種類、採卵の方法、副作用及び費用などにつ
26 いて説明をしている。病棟、手術室の役割は、体外
27 受精実施にあたり術前、中、後のケアとスケジュ
28 ール管理及び調整を主な役割としている。

29 **【まとめ】**体外受精コーディネーターは、精神的な
30 サポートを中心にインフォームドコンセント、患者
31 様のスケジュール管理及び調整などを実施している。
32 患者様のそばに不妊・体外受精コーディネーターが
33 常にいることは、精神的な安定だけでなく、医療安
34 全にも通じることと考える。

35 047-363-2171
36
37
38
39